



# 災害に負けない新しい観光のかたち

宮城県仙台第三高等学校A2班

## 背景

災害の後観光客は激減し、前の状態に戻るの  
は難しく、時間  
がかかる。

<福島の観光客数>



## 研究内容・目的

### <仮説>

現地に行かずに観光ができれば、災害によって  
落ち込んでしまった経済を現地に行かずとも  
サポートできるのではないか

### <方法>

仮説に沿った新しい観光のシステムを考案する

## 調査・実験の方法

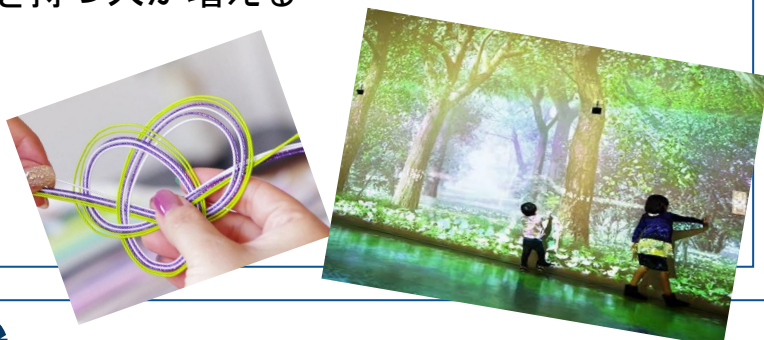
### <考案した観光イベント>

#### ○内容

- ①食べ物...特産品を使った料理を屋台で提供
- ②体験...リモートで講師の方に教えて  
いただき、伝統工芸品の体験を行う
- ③自然...現地の自然を写真や動画で撮り、イベント  
会場の壁に映す
- ④おみやげ...お菓子やご当地グッズなどを販売

#### ○期待される効果

- ・被害を受けた地域の経済ダメージを減らすことができる
- ・受け入れる地域の活性化も期待できる
- ・観光地に興味を持つ人が増える



## 参考文献

- ・観光の復興状況ー福島復興ステーション(福島県ホームページ)
- ・コロナの影響で減少した消費ー5月前半の国内消費動向指数(PLITIMES)
- ・広島広域観光サイトひろたび

## まとめ・今後の展望

### ○アンケート結果(71件の回答)

この観光イベントに  
「行きたいと思う」54.9%

「行きたいと思わない」45.1%

⇒そのうち約半数が「現地に行かないと意味がないから」と答える

### ○今後の計画

市役所の方に企画書に  
ついてのアドバイスを  
いただく

企画書のQRコードです。  
ぜひ御覧ください。→

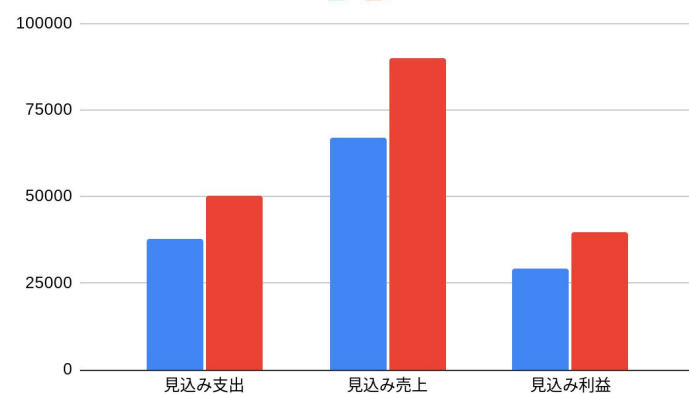


最終的には実際に被災地の復興に役立てたい

## 調査・実験の結果・考察

○私たちが提案したイベントを行った場合の支出、  
り上げ、利益の予想結果

100%(赤)来客時と75%(青)来客時の違い  
(円)



### ○考察

- ・100%来客でない**と金銭面の利益は見込めない**
- ・金銭面の利益が少ない  
→金銭面以外の利益(被災地への興味を持ってもらい、  
今度は実際に現地に訪れてみたい!)と興味を持つ人など)を増やす必要
- ・人件費や原価、運搬コストなど**出費が多い**
- ・支出に見合う利益が得られるか不明